



令和7年11月21日(金)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396

PTA 親睦ソフトバレーで大爆笑!

11月16日(日) 毎年恒例となっているPTA行事の親睦ソフトバレー大会が体育館で50名程が参加して行われました。9人制なので1人が動く範囲もそれほど広くなく、ラリーも続きやすく参加者みんなが楽しめました。「1回で返してはいけない、ジャンプしての攻撃は禁止」など特別なルールに、ついやってしまうプレーに突っ込みが入り周囲は大爆笑! とても楽しい1日となりました。優勝は1班&職員合同チーム! 賞品! ?のヤギはまだ学校にいます。



遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」

先日、県内400校余りの校長が集まる沖縄県小・中学校長研究大会が那覇市で開かれ参加してきました。大会2日目には戦後80年の節目に、40年近くガマや激戦地での遺骨収集をボランティアで続けている「ガマフヤー」(ガマを掘る人の意味)代表の具志堅隆松さんの講演がありました。「遺骨が野ざらしにされている不条理を見過ごせなかった。つらい思いをして亡くなった方を遺族の元へ帰してあげたい。」ただその思いだけで40年近くも遺骨を収集してきました。と語り始めました。



講演では、遺骨の収集現場や見つかった人骨の他にも、遺骨のすぐ側から出土された銃弾や砲弾の破片、手榴弾などの画像もあり、銃弾で頭蓋骨に穴が空いたと想像できるものなど、一緒に出土されたものの画像を示しながら約1時間半語られました。

「頑丈な壕では日本兵の骨が、小さな岩陰やガマからは住民の骨が見つかることが多い。軍民混在だった戦闘の状況が分かる。」と話されていたのが印象に残りました。平和祈念資料館の見学等で、激戦地となった南部の様子をある程度知ってはいましたが、遺骨が出土された場所や遺品から当時の状況が証拠として残されていることを考えると、当時の日本軍が沖縄住民を犠牲にして戦っていたことが分かります。このことに改めて憤りを覚えました。「沖縄戦で県民は国から『人を殺すこと』『自分が殺されることを認めること』『自分で自分を殺すこと』この3つを行うよう教育され命令され受け入れてしまったのです。」と具志堅さんは語ります。また、遺骨収集を通して「死ぬことと殺されることは別もの。戦没者は全員殺されたのです。」と憤ります。「一番伝えたいことはこの3つのどれもが間違っているということです。是非伝えてください。」講演会の最後にそう訴えられました。



12月の行事予定



1日(月)振替休日

3日(水)委員会活動⑧

4日(木)いのちの授業(4年)

6日(日)PTA作業(9:00~11:00)

10日(水)クラブ活動⑥

11日(木)薬物乱用防止教室(6年)

15日(月)~24日(水)5校時授業

25日(木)2学期終業式

※冬休み 12/26~1/5

2026年 丙午年

1月2日(金)マンタラーパレード・生年祝い

1月6日(火)3学期始業式 ※4校時授業



※白保っ子発表会...2月6日(金)に変更

黒板アート大会2025で入賞!

「みんなで描こう!」をテーマに6年生が夏休みに担任の譜久盛泰先生と一緒に取り組んだ「黒板アート大会」で「日本理化学工業賞」を受賞しました! 作品のタイトルは「やまんぐ~の青春一日進月歩」

4月に子どもたちが学級目標を『日進月歩』に決めた後、屋上で全員で撮った決めポーズの写真を元にして、アート作品に仕上げたそうです。(作品左) この賞は、最優秀賞・優秀賞・日学賞に次ぐ賞で4位



だそうです。(何校応募があったかは現在不明。ちなみに昨年度は15校だったようです。昨年の最優秀作品⇒) 賞品として寄贈されたのは、黒板アート用のチョーク3セット。

これでまた応募してくださいというメッセージでしょうか。日々努力し成長している正に日進月歩の6年生。卒業まであと4ヶ月。どんな姿を見せてくれるか楽しみです。

